

母子草

発行所
水戸市八幡町11-52
ラク・ハイツ内
社会福祉法人
茨城県母子寡婦福祉連合会
029 (221) 7505
編集発行者
境 洋子

第514号



県母連は共同募金会の受配団体です。

第68回 茨城県母子寡婦福祉大会を開催

8月25日(金)、茨城県民文化センターにおいて「第68回茨城県母子寡婦福祉大会」を開催しました。

大会には、山口茨城県副知事、石塚県議会保健福祉委員会委員長を始めとする多数のご来賓と、会員及び関係者570名の参加がありました。

大会では、県知事並びに会長からの功労者に対する感謝状等の贈呈に始まり、母子寡婦福祉会の強化・活性化への決意を込めた大会宣言や母子寡婦福祉施策の充実を盛り込んだ要望事項の採択などを行いました。

午後からは、アトラクションとして、「和奏」による和太鼓の演奏と加藤万里奈さんによる口笛演奏などを楽しんだ後、参加者全員で「今日の日はさようなら」を斉唱し、閉会しました。



会長あいさつ

社会福祉法人
茨城県母子寡婦福祉連合会
会長 境 洋子

会場の皆様、お早うございます。

第68回茨城県母子寡婦福祉大会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、台風による影響から大会の中止を余儀なくされ、大変残念な思いをいたしました。今年、無事開催することができ、大きな喜びを噛みしめているところでございます。

本日は、茨城県副知事の山口やち翁様、茨城県議会保健福祉委員会委員長の石塚仁太郎様をはじめ、多数のご来賓の皆様におかれましては、ご多忙のところご出席を賜り誠にありがとうございます。

なお、ご来賓の皆様方には、日頃から、母子寡婦福祉の増進並びに県母連の運営にご配慮を賜り、この場をお借りしまして、心より厚く御礼を申し上げます。

特に、昨年度は、ご臨席の先生方のご尽力の

お蔭をもちまして、母子福祉の分野で、大きな前進がございました。このことは、既に、ご来場の皆様方もご承知のことと存じますが、児童扶養手当の二人目以降の加算額が倍増となりましたほか、ひとり親家庭の高等職業訓練をさらに促進するための貸付金制度や生活向上・学習支援事業の制度が創設されるなど、飛躍的に多くの施策の充実・強化が図られました。

一部の事業は、県母連が受託して実施しておりますが、これほどまでの後押しをしていただいたからには、この制度を積極的に活用し、母子家庭の自立支援に結びつけていくことが、私たち母子寡婦福祉団体の責務であり使命でございます。そうして初めて先生方のご恩に報いることになるかと考えております。本当にありがとうございました。

例年のことではございますが、この大会を迎える度に強く感じることは、苦難の時代を力強く歩んできた幾多の先人が、母子寡婦福祉に捧げた精神と偉業を風化させないことが、これからの私たちの活動の原点になる事を忘れてはならないということです。

近年、各地区の母子寡婦福祉会においては、

会員の高齢化による会員の減少や計画的な世代交代を怠ったことによる組織の弱体化が危惧されていますが、先人が我々を育ててくれたように、今は、私たちが、団体の行く末や多くの子どもたちの未来を考えて、ひとりでも多くの後継者を育てることが求められています。

このような中、県内では、関係機関のご尽力もあり、長い間活動を休止していた水戸市と下妻市の母子寡婦福祉会が再結成されており、これからの時代の母子福祉を担う新しい団体として成長されることを大いに期待しているところです。

また、景気は緩やかに回復し、雇用情勢も大幅に改善されていると言われていますが、母子家庭の雇用は大半が非正規雇用であり、経済的に低位な状況に置かれている現実には変わりあ

りません。

さらに、地域での交流の希薄化などが加わり、母子家庭や寡婦の置かれている生活環境は、依然として厳しく、支援を必要としている世帯が多く存在しています。ここにも、私ども母子寡婦福祉団体の存在意義と役割があることをいま一度考えていただきたいと思います。

本日の大会を契機に、行政並びに母子寡婦福祉関係各位のご指導とご協力の下、会員一丸となって、信頼され、頼られる団体となるよう決意新たに取り組んでまいりたいと考えております。

結びになりますが、本日、ご臨席を頂いておりますご来賓の皆様並びに会員の皆様のご健勝を祈念しまして、私のあいさつといたします。

本日は、本当にありがとうございました。

県南ブロックだより

親子でスカイツリーへ

土浦市母子寡婦福祉会

野 口 の ぶ

土浦市の母子寡婦福祉会の今年の行事として、親子すこやか日帰り研修を、東京スカイツリーで行いました。若年母子会員の皆様と呼びかけましたところ13組の会員が応募して下さい、親子合わせて55名が参加してくれました。事務局の方1名と寡婦会員4名が付き添いとして加わり合計60名がバス2台に分乗して土浦市民会館を出発しました。

幸いお天気が曇りがちで暑くなく快適な1日でした。約2時間位で目的地に到着しました。近くのおそば屋さんで早めの昼食をとり、スカイツリーへと向いました。夏休みの土曜日とあって、中は大勢の観客でにぎわっており迷子にならないかと少し心配でしたが母子の手がしっかり結ばれていて安心致しました。展望台までエレベーターとエスカレーターを乗り継いでやっと目的の場所につきました。そこも人があふれていて外を眺めるのに大変でした。お天気が曇りだったので遠く

までは見えなかったのが残念でしたが、東京の町並をぐるりと見渡せてすばらしい景色でした。子供達も歓声をあげて楽しそうにしており、やっぱり来てよかったと思いました。

ツリーの中で約3時間の自由散策をしていただき帰路につきました。子供達も夏休みの楽しい思い出が出来た事でしょう。何事もなく無事に研修が終りほっと一息という所です。

事務局の方々のお骨折りに感謝致します。

12月にはクリスマス会も行いますのでまた大勢の母子が集まってくれますよう期待しております。若年母子会の方々もお仕事で忙しい事と思いますが、この母子会が老齢化して参りますので是非後継者として発展して下さいますよう御願ひ致します。



母子会の行事に参加して

石岡市母子寡婦福祉会

田 口 奈美江

夏休みに、母子会の行事で「かみね動物園」と「日立シビックセンター」に行きました。

動物園では、普段目にすることが出来ない動物たちを見て、子どもたちはとても楽しそ



うにしていました。私も、子どもたちと一緒に
なって「かわいい〜」「面白〜い！」などと、
はしゃいでしまいました。

「日立シビックセンター」では、すぐ目の
前で迫力のあるサイエンスショーを見たり、
様々なトリックを体験しました。

私は今まで、子どもたちを動物園などに連
れて行ってあげることが出来なかったのです
が、母子会のおかげで、毎年夏休みになると
子どもの喜ぶような場所へ行くことが出来る
ようになり、親子の楽しい思い出を作れるよ
うになりました。本当に、感謝しております。
また、移動のバスの中では、おやつとお弁当
まで用意していただき、本当に至れり尽くせ
りで、有難く思っております。

これからも、どうぞ宜しくお願いいたしま
す。

私と母子会

取手市母子寡婦福祉会

野 口 京 子

私は20年前に主人を亡くしました。

子供達は中学1年を頭に9才、7才でし
た。私達は年2回〜3回家族旅行をして来ま
したが、私一人では3人を連れてのお出掛け
は諦めていました。そんな時、取手市の広報
で「親子すこやか交流事業」の記事を知り子
供達が小学生の頃は毎年参加させていただき
ました。その後子供達はそれぞれの道を歩ん
でおります。私は義母を平成26年に見送り
自分も退職いたしました。時間にゆとりが出
来ましたのでいろいろな活動に参加して、見

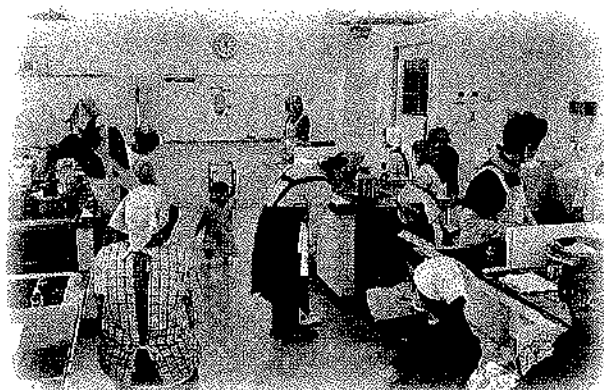
聞を広めて行きたいと思っております。

母子家庭等指導講座で作る楽しみ、食べる
楽しみ、“ピザ”、“豚まん”、スコーン作りなど
を、親子ふれあい事業で役員として昨年大洗
水族館に同行し、珍しい魚やかわいいペンギ
ンなどを見て、浮き浮きした気分となりました。

今年は10月22日に坂東市の自然博物館と、
野田市の「キッコマン醤油工場内もの知り
しょうゆ館」を見学する予定です。

参加される親子共々楽しい一日になるよ
うに願っております。私も童心にかえっている
自分を想像しています。

これからも会の発展とお世話になります鴻
巣会長さんを始め役員の皆様のお役に立てる
ように務めて行きたいと思っております。



出合いに感謝

牛久市母子寡婦福祉会

母子部 榎原美穂



当会では、親子すこやか交流事業でのディズニー遠足がきっかけとなり会員が少しずつ増えてきています。会員同士はとても仲が良く、年間を通してバーベキューやクリスマス会等を行い活動の幅を広げています。今では交流を通して悩みを相談したり、共有し助け合っています。

男性の方も会員となり、父子家庭ならではの悩みがある事も知りました。仕事の残業と子育ての両立が難しく、子ども達だけで留守番をさせ心配しながら仕事を続けている事、料理が苦手ですいつも同じメニューに悩んでいる事等を聞けば、放課後安心して預ける事の

出来る施設を探したり、会員同士で料理の勉強会を行って「シチュー」や「ホットサンド」「沖縄料理」をみんなで作りました。生活面でのアドバイスをいただくことで安心して仕事に取り組み、心だけでなく収入面でも少しずつ余裕ができた方もいます。同じような悩みを持つ仲間がいて共感できるだけで精神的なプレッシャーから解放され親子共々交流を楽しんでいます。

最近ではイバライドへ行きキャンドルやクッキー作り・動物との触れ合いも楽しみました。年齢の違う子ども達が集まっていますが、自然と上の学年の子が下の学年の子の面倒を見てくれてまるで兄妹のように仲良くなりました。私はこんな素敵な皆さんとの出合いに感謝し、これからも温かい会であり日々皆さんと一緒に成長していける会を目指していけたらと思っています。



親子指導講座に参加して

稲敷市母子寡婦福祉会

副会長 木村百合子

私達の母子寡婦福祉会では7月1日に親子で簡単冷やし中華サラダそばとそうめん、数種類のゼリー作りを行いました。

講師の栗山先生の説明を受け、野菜を切る人、そばを茹で盛り付ける係、錦糸卵を作る係、三種類のゼリーを作る班に分かれ調理しました。若い会員とベテラン会員そして小学生の子供達が協力して調理しました。子供達で麺の上にレタス、胡瓜、トマトを飾り付け、お母さん達はそうめんの上へ沢山の新鮮野菜をトッピングして頂き美味しそうな冷やし中華そうめんが出来上がりました。ゼリーには

桃、サクランボ、パイナップルを子供達にのせてもらい美味しそうに出来上がりました。

そして食事会です。今日の調理の反省点や今後の研修会の希望を話し合いながら簡単に作れ、ボリュームのある料理を食べながら楽しく触れ合い一日を過ごしました。

会員の中にはとくに子育てが終わり孫の面倒を見ている人や、今が子育て真っ最中で大変な生活を送っているお母さんもいます。年代の違う人達が、一緒に助け合いながら同じ目的を持って頑張っている姿は、これからの子供達の成長に良い事だと思います。

これからも母子と寡婦、共に助け合いながら母子寡婦福祉会を盛り上げて行けたらと思います。

今後とも、県母連の暖かいご支援ご協力を宜しくお願い致します。

大洗こどもの城に参加して

つくばみらい市母子寡婦福祉会

小学4年生 中 村 叶 翔

ぼくは、お母さんと、弟の大翔と3人で高速に乗って、大洗こどもの城に一泊で行きました。大ぜいのお母さん達と子どもがいました。いろいろな市や町からみんな参加していて、ビックリしました。外でアスレチックでは遊んだりできなかったけど、部屋がいっしょだったみんなとゲームをしたり、トラン



プをしたりして遊び楽しかった。お風呂も大きくみんな一緒に入れて楽しかったです。

2日目は、うどん作りをしました。

粉に、水を少しずつ入れ、まぜて、こねて、なんかいも足でふんで、のぼしてみんなでうどんを作りました。ぼくはうどんのき地を切ったりしましたがむずかしくて、ふとくなくなってしまいました。ゆで上がっためんを見たら、やっぱり太かったけど、みんなで一緒に食べられてうれしかったです。またこのような集りに参加したいと思いました。

お知らせ広場

「親子すこやか宿泊研修事業」から (参加者からのお便り)

稲敷市 稲 葉 ひとみ

今年の4月から母子寡婦福祉会に入会しました。そして初めての親子すこやか宿泊研修。少し緊張しながらの参加でしたが、娘もすぐ同じ部屋のお友達と仲良くなり、夜には皆で鬼ごっこをしたりウノをしたりと、楽しく過ごせました。

次の日は楽しみにしていたうどん作り。保育園でも親子クッキングはありましたが、うどん作りは初めてでした。皆で生地を踏んだりのぼしたり…。一生懸命作ったうどんはとてもおいしく、すごく良い思い出になりました。

仕事が忙しく、なかなか出掛けたりできないので、久しぶりに親子で過ごせて良かったなと思っています。同じ部屋だったお友達と「また来年」と言ってバイバイしました。また来年の宿泊研修を楽しみに、仕事、学校頑張りたいと思います。

「介護職員初任者研修会」から (受講修了者からのお便り)

久保田 純 子

初めて介護の講習会に参加して、介護される人の気持ちに近づくことができたと思います。家族の介護に直面しての参加動機でしたが、介護に関する行政の仕組みなども分かり、安心することができました。介護の仕事にも興味がわきました。

自分一人では資格の勉強も難しく感じますが、仲間がいるから、仲間もがんばっているからがんばれると思いました。金銭面でも、本当に助けていただきました。

今後は、介護業界に転職も視野に入れながら、学んだ事を無駄にしないように、経験を積んでいきたいとも考えています。

最後まで欠席しないで、そして合格したいです。あきらめずにがんばりたいと思います。



善意の贈り物

平成29年9月、株式会社ケアレジデンス「コミュニティガーデン百合が丘（代表者 萩野裕道）」様から、昨年に引き続き、デイサービス利用者によるチャリティーバザー収益金として12万円相当の図書券が寄贈されました。



ご寄贈いただいた図書券は、母子生活支援施設の入所者が毎月行っている母親集会において、寄贈の趣旨などを説明し、子どもの健全育成のために役立ててもらおうよう各世帯に配布しました。ご厚情に深く感謝申し上げます。

ひとり親家庭等日常生活支援事業の拡充

子育て支援も生活支援と同様に、2時間単位ではなく、1時間単位での利用が可能になりました。また、未就学児を養育しているひとり親家庭で、残業など就業上の理由により帰宅時間が遅くなる場合、定期的に生活援助や保育サービスのご利用が可能になりました。（ただし、保育園の送迎は除かれます。）

平成29年度下半期の会員参加（主要）行事

日 程	行 事 名	場 所
1月19日（金）	新年懇談会（13時開会予定）	ホテルレイクビュー水戸
2月9日（金）	市町村母子寡婦福祉指導者等研修会	県民文化センター
11日（日）	観劇	新橋演舞場
25日（日）	県母子部長等会議	ラークハイツ会議室
3月9日（金）	理事会（10時30分開会予定）	ラークハイツ会議室
26日（月）	評議員会（13時30分開会予定）	ラークハイツ会議室

編集後記

- ◇ 二週連続で台風が押し寄せる週末に母子草の校正をしているが、今年度、県母子寡婦福祉大会を無事開催できた喜びを改めて感じている。
- ◇ 来年度は、関東地区母子寡婦福祉研修大会の本県開催が予定され、今、大会の内容、特に財源をどうするかで悩んでいるが、最終的には、県母連と市町村母子会とが一緒になって頑張るしかないなど考えている。（事務局長）

母子会 加入のお知らせ

各市町村の母子会では、新しい仲間を募集しています。
あなたもお近くの母子会に入って、一緒に事業に参加しませんか。

お問い合わせ

(社福)茨城県母子寡婦福祉連合会
TEL029-221-7505